関東大震災がその後の都市づくりにどのような影響を与えたか

京都大学防災研究所
牧　紀男

趣旨説明

- 関東大震災により発生した大規模な火災は、都市や地域に甚大な被害を及ぼした。
- 本セッションでは、当時の災害状況とその後の都市復興や制度改正などに視点を当てつつ、過去から現在までの 100 年間を振り返る。
- また、関東大震災からの経験を踏まえて、首都圏直下地震などの今後の地震防災における課題や展望について議論する。

講演

- 都市計画の視点から
  - 中林一樹（東京都立大学名誉教授）
- 都市防火の視点から
  - 関澤 愛（東京理科大学研究推進機構総合研究院教授）
- 生活者の視点から
  - 立木茂雄（同志社大学教授）
- 被災社会の視点から
  - 大矢根淳（専修大学人間科学部教授）

ディスカッション

- 首都圏直下地震などの今後の地震防災における課題や展望
  - 関東大震災の経験、その後の100年の取り組みをふまえて、まだ残されている課題。
  - なぜ解決されないのか